

平成 26 年度 専門テーマ別障害学生支援セミナー【4】

発達障害大学生に対する 社会参入支援

～ 学生のセルフ・アウェアネスを育てる「支援の見える化」～

平成 26 年
12 月 4 日(木)

受付時間 9:50～10:20

基調講演 10:30～12:00

分科会Ⅰ・Ⅱ 13:00～16:00

場所:富山国際会議場 201・202

定員 120 名
参加費無料

発達障害のある大学生の支援に関しては、すでに多くの大学が、支援コーディネーターの配置や支援室の設置を検討しはじめており、支援体制の構築への機運が高まっています。発達障害のある大学生に有効な支援を行うためには、支援体制の構築とともに、支援を受けている学生が、支援の全体像を眺め、理解し、支援の方向性や支援方法についての意思決定に参加できることが望まれます。同時に、支援者にとっては、学生の自分自身の特性への理解と支援ニーズへの気づき（セルフ・アウェアネス）を促進する方法について考えていくことが求められます。

本セミナーでは、富山大学で行われている対話による支援（ナラティブ・アプローチ）のプロセスにおいて有効に用いられている「見える化」の技法やツールが紹介されます。

分科会では、次の二つの課題を取り上げます。一つは、修学支援において、学生が自分自身の特性と支援について理解するためのアセスメントおよび対話プロセスの「見える化」です。もう一つは、就職支援において、学生自身が自分の将来像を描きながら就職活動に取り組んでいくための流れの「見える化」です。参加者の皆様とのディスカッションの時間を十分にとり、それぞれの課題について支援者が抱える実情にあった対応策を検討していきたいと思っています。

【参加対象】

障害学生支援に携わる高等教育機関（大学・短期大学・高等専門学校）、
および高等学校の教職員、企業・団体・公共機関の障害者雇用または就労支援担当者

【お申し込み方法】

下記 URL 先の独立行政法人日本学生支援機構ホームページ内【平成 26 年度専門テーマ別障害学生支援セミナー【4】開催案内】のお申し込み方法をご参照ください。

詳しくはこちら http://www.jasso.go.jp/tokubetsu_shien/event/h26seminar4.html

※大学・短期大学・高等専門学校には、申込みフォームに入るためのログイン ID およびパスワードが
事前に日本学生支援機構より郵送されています。ご不明の場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

【お問い合わせ先】

日本学生支援機構 学生生活部 障害学生支援課 TEL : 03-5520-6173

✉ : tokubetsushien@jasso.go.jp

プログラム

午前の部：基調講演

- 9時50分 受付開始
10時20分 開会挨拶
日本学生支援機構
富山大学 北村 潔和 副学長
10時30分 基調講演
「発達障害大学生のセルフ・アウェアネスを育てる
～公的資格取得を目指す専門分野における支援を中心に～」
講師：西村 優紀美（富山大学保健管理センター准教授 アカデミック・コミュニケーション支援室長）
11時30分 総合討論
司会・総合討論：齋藤 清二（富山大学保健管理センター長・教授）
12時00分 昼食

午後の部：分科会

13時00分 分科会Ⅰ・Ⅱ

分科会Ⅰ：ナラティブ・アセスメントによる修学支援の見える化

コーディネーター：西村 優紀美

パネリスト：齋藤 清二、水野 薫（富山大学学生支援センターコーディネーター）

- 話題提供①「学生実習の“見える化”の試みとつまずきへの支援」 話題提供者：水野 薫
話題提供②「個々の面談における対話技法の“見える化”」 話題提供者：齋藤 清二

分科会Ⅱ：就職活動の見える化

コーディネーター：桶谷 文哲（富山大学学生支援センター特命講師）

パネリスト：鈴木 慶太（株式会社 Kaizen 代表取締役）

日下部 貴史（富山大学学生支援センターコーディネーター）

- 話題提供①「発達障害に特化した職場実習における“見える化”（仮）」 話題提供者：鈴木 慶太
話題提供②「発達障害大学生と社会をつなぐ就職活動の“見える化”」 話題提供者：日下部 貴史

16時00分 閉会（各分科会ごとで閉会）

会場案内図（富山国際会議場）

住所：富山県富山市大手町1番地2号 電話：076-424-5931



【富山駅からのアクセス】

- ・富山駅南口から市電乗り場へ移動
- ・乗り場「富山駅前」から環状線に乗車
- ・「国際会議場前」下車（約8分）

市内電車は、南富山駅前行、大学前行、環状線の3種類があります。お間違えの無いようご確認ください。